

令和6年10月7日

ご門信徒様

宗教法人 光照寺

住職 濱寄重信

第30回 定例法座 ためして仏教！！ご報告

タイトル 正信偈のつまみ食い

日時：令和6年10月6日〔日〕13:30~15:30

場所：光照寺

講師：住職自勤

スケジュール：

13:30 お勤め

13:45 法話

15:30 解散



正信偈の読み方と内容について、みんなで確認していきました。

Q 正信偈っていつから読まれたの？

蓮如上人の時より読まれるようになりました。

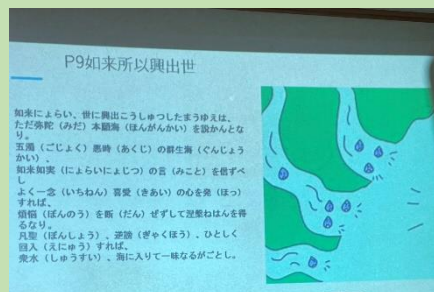
Q2 正信偈ってどんな書物なの？

正信偈は、著者 親鸞聖人の『頭浄土真実教行証文類』全6巻の行巻に出てきます。正信偈は、1句7文字、計120句の念仏の教えを正しく信ずるための道理の詩です。

Q3 正信偈ってどんなことが書いてあるの？

前半は、南無阿弥陀仏の教えと、その教えを説く為にお釈迦様が生まれてきたことが書かれています。後半は、阿弥陀仏の教えを親鸞聖人にまで伝えられたインド・中国・日本の僧侶の本願についてのご解釈が書かれています。

詳しくは、ためして仏教！！へご参加下さい。



光照寺 電話 093-321-7008

メール sangal6buturn@yahoo.co.jp